

令和8年9月定例会 一般質問

令和8年8月31日（月）

	質問者	質問項目・要旨
1	佐藤 憲弘 (民政クラブ)	1. 申請主義の見直しによる住民サービスの向上について ①申請が必要な行政サービスのうち、必要な支援を受けていない市民がどの程度いるか ②対象者への個別通知や案内を行う「プッシュ型」の支援を拡充する考えは ③ワンストップ化など、申請の負担を減らす取り組みをさらに進める考えは ④「市民が制度を探して申請する行政」から、「行政が必要な人を把握し、支援につなげる行政」へ転換する考えは 2. スポーツ合宿の受入環境整備について ①市民意識調査「ラグビーのまち釜石としての強みを生かした国内外の交流人口の拡大が進んでいる」の回答結果の分析は ②スポーツ合宿への補助実績は ③合宿誘致をさらに進める上で、市内宿泊施設の受入能力や、合宿に必要な環境についての把握は ④民間宿泊事業者が合宿を受け入れるための設備改修や受入体制の整備を支援する考えは 3. 飲食料品に係る消費税率引下げに伴う市内飲食店への支援について ①飲食料品に係る消費税率引下げが、市内飲食店に与える影響をどのように認識しているか ②売上減少などの影響について、実態調査を行う考えは ③経営支援や利用促進事業など、市独自の支援策を検討する考えは
2	山崎 長栄 (公明党)	1. 「社会福祉法等の一部を改正する法律」について ①改正法の成立についての所見と望まれる支援策は。 2. 防災・減災、国土強靱化のための5ヵ年加速化対策と中期計画について ①老朽インフラの改修と避難生活環境の改善について
3	菊池 秀明 (令和クラブ)	1. 国勢調査速報結果の人口減少について ・岩手県14市の中で人口減少率が12.7%で一番高い、また、その以前の2015年から2020年も12.8%で一番高い、この結果をどのように捉えているか。 ・第六次釜石市総合計画の実施結果が人口減少対策にどのように効果があったか見解を求めます。 ・釜石市人口ビジョン・オープンシティ戦略の実施結果が人口減少対策にどのように効果があったか見解を求めます。 ・釜石市の人口減少対策について、何を早期に実施すべきか、見解を求めます。
4	工藤 聡一郎 (至誠の会)	1. 地域おこし協力隊のコンプライアンス確保と不測の事態への対応について ・活動期間中のコンプライアンス確保と問題発生時の対応について ・犯罪への関与と事件に巻き込まれた場合の対応について ・不測の事態への対応体制と制度の見直しについて 2. 教職員による不祥事から児童生徒を守る体制について ・教職員による重大な不祥事に対する認識と防止対策について ・不適切な行為の未然防止と早期把握について ・相談・訴えがあった場合の把握体制と教育委員会の関与について 3. 子どもの地域活動・体験活動を通じた地域づくりについて ・子どもたちが地域と関わることに対する市の認識について ・地域の活動と子どもたちをつなぎ、地域活動への参加機会を広げる取組について

令和8年9月定例会 一般質問

令和8年9月1日（火）

	質 問 者	質 問 項 目 ・ 要 旨
1	井筒 健太郎 (創政会)	1. 防災行政について ・ 本年4月に発生した三陸沖地震で津波警報が発令された。その際の避難状況と避難場所、避難所での課題について伺う。 2. 観光行政について ・ 本市では、観光客が「何を目的に釜石を訪れ、何に満足し、何に不満を感じ、どこで消費しているのか」という観光客の行動やニーズを、どの程度把握しているのか。 ・ 「釜石には、ギネス世界記録に認定された世界最大水深の湾口防波堤があり、また、甲子川のアユについても「日本一美味しいアユ」として評価されるなど、食や自然に関する独自の魅力があります。こうした『釜石でなければ体験できないもの』を、現在の観光戦略の中でどのように位置付けているのか伺う。 3. 教育行政について ・ GIGAスクール構想で児童生徒に一人一台タブレット端末が支給されている。現在どのように活用され、どのような課題があるのかを伺う。 ・ 昨年12月に実施されたCRTテストについて、その分析結果と評価及び課題、また今後の継続の可否について伺う。
2	佐々木 義昭 (21世紀の会)	1. 人事評価について 人事評価の仕組みとその効果 2. ハラスメント調査について 「調査を検討する」とした結果とその内容 3. 公共施設等総合管理計画について 管理計画の進捗
3	細田 孝子 (公明党))	1. 行政改革大綱について ①保健師の配置と生活応援センターの在り方について 2. 健康福祉行政について ①ギャンブル等依存症対策について ②香害対策について 3. 教育行政について ①小中学校における防火安全対策について

令和8年9月定例会 一般質問

令和8年9月2日（水）

	質 問 者	質 問 項 目 ・ 要 旨
1	高橋 松一 (令和クラブ)	1. コンパクトなまちづくりについて ・1市4村が合併した当市、釜石市総合計画後期基本計画がスタートした今、それぞれ地域性豊かで、特徴のあるまちづくりをすべきでは。 2. 釜石市建築系公共施設等個別施設管理計画について ・当計画の実施期間中ではありますが、進捗状況は。 ・新たな課題の発生の有無は。 ・対策の改善策の必要性は。 3. 空き家対策の進捗状況と空き地の活用について ・震災後の市民・住民の生活・居住場所は確保されましたが、空き家対策は難儀のはずだが、現状と対策の必要性は。 ・活用についての一般向けの窓口みたいなものの必要性を感じるが、当局の考えは。 4. 自主防災組織の現状についてとアーカイヴの記録集の存在について ・最近の異常気象とも言われる現象から、台風などの自然災害が多発傾向にある。3・11の経験から風水害対策にも対応可能なのか。 ・今、アーカイヴの記録集はどうなっているのか。 5. 水産振興について ・水産のまちとして最近定置網漁が盛ん。一方、マグロの混入によって定置網漁、漁獲が半減。国への働きかけを強めるべきでは。
2	磯崎 翔太 (創政会)	1. 生活応援センターについて ・生活応援センターのあり方の見直しについて、当局の考える「見直し」の具体的な方向性、定義は ・生活応援センターの体制を抜本的に見直すことは、重層的支援体制整備事業に負の影響を及ぼさないか ・生活応援センターが担う機能において、地域に残すべき機能と本庁舎に集約すべき機能、DXによって対応すべき機能をどのように評価できるか 2. 平和の取組について ・非核平和都市宣言が希求している「非核三原則の遵守」と、政府が公に認めている「有事における核持込みの例外」は整合するものか ・核兵器廃絶を希求する非核平和都市宣言と、米国の核抑止力に依存する我が国の安全保障政策との関係性をどのように整理するか ・歴史教育の特にも戦争史において、歴史的事実と歴史的評価を区別して児童や生徒に教えているか ・歴史教育における平和教育において、児童生徒が異なる歴史認識を比較し、自ら考えて判断する機会をどのように確保しているか
3	菊地 広隆 (創政会)	1. 学校規模適正化・適正配置と学校再編について ・令和8年度の市立小学校新1年生の実数が予測を下回り、学校ごとに予測との差が生じたことを、教育委員会はどのように認識しているか ・入学者数が予測を下回って推移した場合、複式学級の解消を目的とする現行の学校再編スケジュールを見直し、統合時期を前倒しする必要があるのではないか ・釜石小学校と双葉小学校の統合に加え、小佐野小学校を含む3校を一体的に捉えた学校再編を検討する考えは 2. 社会減対策とコンパクトシティ政策における西地区の拠点形成について ・社会減の要因分析と抑制に向け、企業誘致等による雇用創出を西地区への若

令和 8 年 9 月定例会 一般質問

		者・子育て世帯の定住につなげるため、経済・雇用、住宅・土地利用、教育、医療・福祉、交通、防災等を庁内横断でどう進める考えか ・中妻町、上中島町、小佐野町、甲子町・松倉周辺を中心とする西地区について、スーパー等の撤退・縮小による買物環境の悪化を含め、生活・商業機能をどう維持し、20 年後、30 年後の居住誘導、都市機能・学校配置を含む具体的な将来像をどう描く考えか
--	--	--

令和 8 年 9 月定例会 一般質問

令和 8 年 9 月 3 日（木）

	質問者	質 問 項 目 ・ 要 旨
1	古川 愛明 （創政会）	1. 総務企画行政について ・復興事業造成地の土地貸付料の減免について 2. 産業振興行政について ・釜石市の畜産業の状況は ・和山牧場、立岩、古小屋、基地前の牧草地の地質等の課題について ・放牧の拡大計画について 3. 保健福祉行政について ・保健師の生活応援センター一人体制の負担軽減について ・保健師の人数と配属先、今後の体制について ・保健師と社会福祉協議会の関わりについて
2	村田 信之	1. 「かまいし本のまちプロジェクト」について ・「本のまちプロジェクト」を通じて、子どもたちを含む市民の学びや交流、地域とのつながりをどのように育んでいく考えか。 2. ゼロカーボンシティ推進について ・市民や事業者の環境活動を、ゼロカーボンの取組につなげていくことについて、市の考えを伺う。 ・ゼロカーボン推進において、サステナブルツーリズムにどのような役割を期待しているのか。 3. 「地域の人事部」について ・人口減少や人材不足が進む中、企業、教育機関、行政等が連携し、地域全体で人を育て、地域と人との関係をつくる「地域の人事部」の考え方について、市の認識を伺う。 ・中学生の職業体験、釜石コンパス、企業横断型の人材育成など、すでに行われている取組をつなぎ、地域全体の人材育成として展開していくことについて、市の考えを伺う。
3	深澤 秋子	1. 保健福祉行政について ・分娩に伴う健診等のほか脳血管疾患、心疾患等、県立大船渡病院への受療動向の状況は。 ・岩手県へ要望している、圏域外受診時の移動確保と負担軽減についての進捗状況は。 ・保健師配置の集約化は、地域との結びつきが薄れることや予防医学の観点からサービス低下と考えるが見解は。 2. 防災行政について ・市の総面積の 80%以上を森林で占め、急傾斜地が多い当市で、大雨、台風等豪雨災害による被害をいかに少なくし市民の安全を確保するか。 ・避難所となる体育館へのエアコン設置率は全国で 22%程度、岩手県においては 1 %となっている。避難者は生命の危険にさらされることにもなり、エアコン設置は喫緊の課題ではないか。